

本町・花川地区

④【石狩温泉郷の宿】
展望露天風呂から眺める石狩の海は格別です。至福の時をどうぞ。
■部屋数等:24室(定員90名) ■所在地 〒061-3372 石狩市弁天町38番地
■TEL:0133-62-5000

⑤【石狩温泉郷の湯】
日帰り温泉施設の研修室が、研修宿泊室としてご利用いただけます。
■部屋数等:24室(定員39名) ■所在地 〒061-3372 石狩市弁天町51番地2
■TEL:0133-62-5333

⑥【民宿でらあ】
海水浴場まで徒歩2〜3分。あったかい女主人が出迎えてくれます。
■部屋数等:和6室(定員20名) ■所在地 〒061-3375 石狩市本町5-3 ■TEL:0133-62-4771

⑦【民宿やまたま】
ここでしか買えない手作りのお土産(いずし、昆布巻等)があります。
■部屋数等:和9室(定員25名) ■所在地 〒061-3377 石狩市親船町109番地 ■TEL:0133-62-3326

⑧【民宿山福】
市街地にあることからビジネスに適しています。
■部屋数等:和9室(定員30名) ■所在地 〒061-3248 石狩市花川東32-77 ■TEL:0133-74-0529

⑨【大和旅館】
家庭的なおもてなしが自慢です。
■部屋数等:和6室(定員20名) ■所在地 〒061-3202 石狩市花川南2条3丁目84 ■TEL:0133-73-0316

厚田地区

⑩【民宿望海荘】
日本海を間近に望む料理のおいしい民宿です。
■部屋数等:6室 ■所在地 〒061-3523 石狩市厚田区望来32-6 ■TEL:0133-77-2438

⑪【民宿八幡】
漁港に近く、庶民的な民宿です。
■部屋数等:3室 ■所在地 〒061-3601 石狩市厚田区厚田 ■TEL:0133-78-2804

⑫【戸田旅館】
歴史的風格と趣のある日本旅館です。
■部屋数等:6室 ■所在地 〒061-3601 石狩市厚田区厚田5 ■TEL:0133-78-2036

⑬【品田旅館】
おもてなしの心でお迎えします。
■所在地 〒061-3601 石狩市厚田区厚田 ■TEL:0133-78-2410

浜益地区

⑭【民宿よしぞえ】
海水浴に便利な海浜公園前。海の幸、山の幸でお出迎えします。
■部屋数等:3室(定員10名) ■所在地 〒061-3106 石狩市浜益区川下126-2 ■TEL:0133-79-3446

⑮【民宿日本海】
海水浴場入り口前。冷暖房、駐車場完備。大人数でのお泊りOK!
■部屋数等:10室(定員55名) ■所在地 〒061-3106 石狩市浜益区川下70-14 ■TEL:0133-79-3034

⑯【民宿浜田園】
お部屋からの日本海の眺めは最高です。各種海鮮料理を取り揃えお出迎えします。
■部屋数等:10室(定員40名) ■所在地 〒061-3106 石狩市浜益区川下44-3 ■TEL:0133-79-2108

⑰【民宿中野】
日本海を一望できる展望と、新鮮な魚介類を堪能できる料理が自慢です!
■部屋数等:5室(定員12名) ■所在地 〒061-3106 石狩市浜益区川下7-1 ■TEL:0133-79-3139

⑱【民宿さんごろう】
新鮮な魚介類を堪能できる料理が自慢です!
■部屋数等:10室(定員30名) ■所在地 〒061-3106 石狩市浜益区川下38 ■TEL:0133-79-2041

⑲【民宿海幸】
目の前は日本海で眺めがよい。
■部屋数等:6室(定員44名) ■所在地 〒061-3101 石狩市浜益区浜益629-2
■TEL:0133-79-3666

⑳【民宿あはし】
新鮮な魚介類を堪能できる料理が自慢です!
■部屋数等:6室(定員20名) ■所在地 〒061-3101 石狩市浜益区浜益1-1
■TEL:0133-79-5001

㉑【民宿かもめ】
地物の魚と鍋料理をご用意しています。
■部屋数等:4室(定員18名) ■所在地 〒061-3101 石狩市浜益区浜益83-6
■TEL:0133-79-2050

㉒【旅館浜益荘】
地物の魚と鍋料理をご用意しています。
■部屋数等:10室(定員20名) ■所在地 〒061-3101 石狩市浜益区浜益1-3
■TEL:0133-79-2012

㉓【民宿浜の家】
浜益漁港が目の前にあり、部屋からの日本海の眺めは最高です。
■部屋数等:3室(定員12名) ■所在地 〒061-3101 石狩市浜益区浜益 ■TEL:0133-79-3131

宿泊



映画「喜びも悲しみも幾年月」の舞台となった石狩灯台。もともとは白黒の塗装でしたが、映画がカラフルのはじりだったため、映画会社の依頼で赤白に、建設は明治25年、110年ものときを刻んだ今も現役の灯台です。

映画ロケ地

53【天国の本屋〜恋火(ロケ風景)】

地方の書店から火がつき、その感動がじわじわと全国に広がりロング・ベストセラーとなった「天国の本屋」シリーズ。涙が出るのに、生きているのが楽しくなる。「天国の本屋〜恋火」はそんな、誰もが待っていたラブストーリーです。全シナリオの3分の1が石狩市内の石狩灯台や石狩河口橋、番屋の湯裏側、旧櫛引商店前などでロケが行われました。花火打ち上げシーンでは石狩浜で800人の大規模エキストラが参加、また、石狩浜(3線浜側)で3輪自動車を置き、海の見える場所の撮影が行われました。

2004年初夏松竹系列で全国公開されました。



題名	ロケ地	主演・共演	上映年月日
砂と鉄	花野・菊川地区	—	—
水と鉄	石狩市内一円	—	—
石狩と鮭	石狩市内一円	—	—
大地の侍	石狩川河口付近	大友柳太郎・高千穂ひさる	1956年1月29日上映
喜びも悲しみも幾年月	石狩灯台付近	高峰秀子・佐田啓二	1957年10月1日上映
あの娘の果てまで(後編)	石狩川漁船付近	岩下志麻・高峰三枝子	1961年8月30日上映
あした逢う人	石狩市内一円	橋幸夫・三上江梨子	1962年9月16日上映
とべない沈黙	花川小学校	加賀まりこ	1966年2月11日上映
うちのホンカン	石狩市厚田区	大滝秀治・八千草薫・仁科明子	1971年3月22日上映
こんにちはハーネス	本町地区	中村明美・前田吟	1993年8月29日上映
ホームシック	石狩浜・親船町	奥村公延	1999年3月上映
man-hole	石狩市浜益区	安田顕・三輪明日美・大泉洋・他	2001年3月上映
river	紅毛山49号遺跡	大泉洋・安田顕・他	2003年9月6日上映
天国の本屋〜恋火	石狩浜の道・他	竹内結子・玉山鉄二・他	2004年初夏上映
ピッチハイク	石狩市立図書館・他	竹内ゆづ紀・寺島進・他	2004年初夏上映
新・嵐/フロンティア・ドリーム	石狩浜	北村一樹・藤田晴子・他	2004年初夏上映
北の囃子	—	吉永小百合・渡辺謙・他	2005年1月15日上映
最終兵器彼女	石狩浜・他	前田愛・篠塚優介・他	2006年2月上映

45【弁天歴史公園】

■石狩市弁天町38番地
鮭漁で栄えてきた石狩のシンボルとして、石狩歴史跡に弁天歴史通りと一体的に、作られた公園です。
泰山居(らくざんきょ)、先人たちの碑、運上屋棟、バザール広場・野外集会スペース、などがあります。

46【尚古社】

■石狩市本町西3
鮭漁に沸いた明治から昭和の初期にかけて繁盛した中島島屋。当時の社主らは1856年に俳句結社「石狩尚古社」を結成して全国各地と交流するとともに、中島家に多くの俳句資料と収集した書画などを残しました。
※私設資料館なので、来場者があるときのみ公開します。事前に電話連絡してください。
■TEL:0133-62-3380 中島勝久

47【石狩弁天社】

■石狩市弁天町
創立1694年(元禄7)、鮭の豊漁を願って建てられた300年の歴史を誇る市内最古の建物。主神は弁天様のほかに、石狩川の主を神格化「妙亀水鏡」通称サメ様が奉られています。
※見学のときは社団法人石狩観光協会 TEL:0133-62-4611へ連絡を。



48【ハママシケ陣屋跡】

■石狩市浜益区川下
安政6(1859)年、幕府から警護を命ぜられた荘内藩は、現在の川下(かわしも)地区を開拓し、十余棟の邸舎を建て、それを御陣屋と称していました。この跡が今も川下神社横に残り、昭和63年5月に国指定の史跡となりました。



49【岡島洞窟遺跡】

■石狩市浜益区浜益
昭和11年、34年の2度にわたる発掘調査により、縄文文化期から弥生文化期までの7期間にわたる住居跡と判明。内部からは人骨、土器、石器などが多数出土しました。特に第4文化層からはオホツク土器が発見され、日本海岸最南端の遺跡として学界より注目を集めています。

厚田村の歴史を彩る先人達

50【吉葉山潤之輔】

第43代横綱(1920〜1977)
1920年(大正9年)4月3日支那の遼村に生まれる。姓は池田、厚田の高等科を出て直ぐ専攻の製糖工場で働く。この頃の彼は、二休の姿をかつくほどの力持ちであった。1938年(昭和13年)上京、高橋部屋に弟子入りする。その年、官費で入院、吉葉庄作博士に助けられ吉葉山と名乗る。序二段の頃、連勝街道基連中の横綱双葉山に可愛がられる。昭和17年幕下筆頭で優勝、この年応召となり北支に転戦する。1954年初場所全部優勝、横綱に昇進し、後に宮城野部屋を作り多くの弟子を養成した。

51【子母澤寛】

作家(1892〜1968)
1892年(明治25年)厚田村に生まれる。本名は梅谷松太郎。明治大学法学部を卒業、読売新聞社、東京日日新聞社を経て1928年(昭和3年)「蜚聞物語・新撰組始末記」を刊行。「国定忠治」により、文壇的地歩を確立した。又戦後にかけて幕末、江戸の郷愁をこめた「勝海舟」「父子鷹」も注目を集めた。祖父、梅谷十次郎の影響が強く、「蜚聞物語」「厚田日記」等もあり、又異父弟に画家の三岸好太郎がいる。